



KAGOSHIMA

Y'S MEN'S CLUB

鹿児島ワイズメンズクラブ

2015

6月号

No. 300

【国際会長】Isaac Palathinkal – インド – “Talk Less, Do More” 「言葉より行動を」

【アジア会長】岡野泰和 – 大阪土佐堀 – “Start Future Now.” 「未来を始めよう、今すぐに」

【西日本区理事】松本武彦 – 大阪西 – “To walk together, echoing each other.” 「響き合い、ともに歩む」

【九州部長】亀浦正行 – 熊本にし – “Y's spirit, from you to me and from me to you for generations!”
「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」

鹿児島クラブ会長: 松永 英明『原点を見つめ、情熱と愛情を持って、鹿児島の未来を創造しよう!』



第18回 西日本区大会参加報告



去る6月13日(土)、14日(日)の2日間、標記の大会が大阪市「ハイアットリージェンシー大阪」で行われました。大会は西日本区内からはもとより、東日本区内からも含め770名を超えるワイズメン・メネットや家族が参加し、盛大に開かれました。鹿児島クラブからは松永会長、徳田ワイズ、山口ワイズ、および私の4名が参加しました。

大会の始めに恒例のバナーセレモニーがあり、松永会長がバナーを掲げて晴れやかに入場しました。式典では、理事ほか来賓の挨拶の後、各部からの報告などが続きましたが、その中では九州部亀浦部長のプレゼンがもっとも素晴らしく、印象に残るものでした。

大会の最大のイベントは、その後の落語家桂吉弥氏による講演・落語でした。テレビ「生活笑百科」でおなじみの桂吉弥氏の豊富な内容と軽妙な語り口に、大いに笑いました。私が特に印象に残ったのは、桂氏が「想いをめぐらす」と言われたことです。落語はことばを聞いてそれがそのことばから「想いをめぐらす」わけですが、このことはふだんのコミュニケーションの中でも大切であることを示唆されました。

夜は懇親会が開かれ、カントリーミュージックの生演奏を聴きながら、思い思いに懇親を深めました。

その後、フェローシップの時間に、岩国クラブ、宝塚クラブ、鹿児島クラブの3クラブで交流会を行い、それぞれのメンバーと親しく語り合いました。

2日目は事業主任報告や表彰が行われ、その中で鹿児島クラブは「Yサ・ユース献金優秀クラブ賞」「BF100%達成クラブ賞」「ノンドロップ賞」の3賞をいただきました。

大会は昼に終了し、次年度もまた大阪での再会を約束して散会しました。私が大会に参加するたびに思うのは、こうして全国のクラブの方々と話すことのありがたさです。私にとってはこの大会はいい刺激を受け、元気を得られるものとなっています。2016年6月25日(土)、26日(日)に大阪市松下IMPホールで開催される第19回大会に、みんなで参加しましょう。

(鹿児島ワイズメンズクラブ 園屋 高志)



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

鹿児島クラブ会長 松永英明

西日本区理事 松本武彦

「原点を見つめ、情熱と愛情を持って、鹿児島の未来を創造しよう！」

長雨が続いておりますが、皆様におかれましてはお変わりありませんでしょうか。日頃のワイスダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

今月は、「本年度の活動目標がどこまで達成できたかを振り返り、達成と未達成の原因を探り、この振り返りの成果を次年度の活動に活かそう。」と1年間の締め括りの月です。13、14日にハイアットリージェンシー大阪で西日本区大会が開催されました。770名を超えるワイスメン・メネットが参加し盛大に行なわれました。区大会は、鹿児島クラブと会長職としての評価をいただく場でもあります。私自身「無事に任期を終えることができた。」と安堵した反面、西日本区の他クラブ、他会長の方々の報告を聞き、表彰される場面を見ていると自分自身の会長としての活動に大いに反省させられましたし、大いに刺激もいただきました。これからワイス活動に活かしていくことを改めて思うところでした。

ここで報告。西日本区大会で懇親会のあとフェローシップにおいて、岩国クラブ、宝塚クラブとの3クラブ合同の交流を行いました。短い時間ではございましたが、有意義な時間を過ごすことができました。今後も交流を続けていきたいと思います。自分では、トライアングルDBCの始まりになったのではないかと思っています。

昨年の7月、入会6年目の自分が会長としての任期がスタートしました。緊張し不安を抱えながらの所信表明。運がいいことに周年の記念の年に会長をさせていただけ幸運に感謝しながら、皆様の賛同を頂き、2月に記念例会を開催すると宣言させていただきました。8月は鹿児島クラブ初の納涼ビアパーティーは大いに盛り上りました。9月はメネット事業の一つとして取り上げられている、希少難病患者の支援活動の一環として、希少難病に関するビデオをみんなで視聴しました。10月は卓話者として河井達志氏（宇宿商店街振興組合）をお迎えし、「小さな商店街で続けられる商店街活動」というお話をいただきました。12月は恒例のクリスマス例会。1月には、卓話者として、元熊本YMCA総主事堤弘雄氏をお招きし、YMCAやワイスの活動の意義についてお話をいただきました。また、鹿児島YMCAでチアダンスなどの活動に携わっているユースリーダー3名が参加されました。2月は、「鹿児島クラブ創立25周年記念例会」として開催しました。当日は、60名の参加をいただき、盛会に終えることができました。年間を通して、鹿児島YMCAの活動には勇気と感動をいただきました。新内ワイス、メネット本当にご苦労様です。感謝の気持ちでいっぱいです。

会長としての様々なワイス活動を通して大いに学ぶことができました。少しは成長できたかなあと思います。

この1年、皆様には温かく見守って頂き、無事会長職を全うすることができました。心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

今期は、ファンド事業を交流事業に合体させるとともに、広報事業を継続性のある委員会制度とした「5事業1委員会制度」に基づき事業活動を進めてゆくスタートの年でありました。交流事業とファンド事業を合体した国際・交流事業については、これまでの2つの事業活動を生かしながら活動を展開してゆけることが確認できました。ただ、「国際」なる名称をもつことで、国際にからむ諸事項への対応については今後、組織的対応を含めて考慮してゆくことが必要かと感じています。理事通信3月号でお知らせしました国際新事業「STEP For All」はTOF事業の支援・理解を意図しての事業であることから、今後はTOF事業を管轄する地域奉仕・環境事業部門が担当することになりました。

会員増強に向けて立ち上げられた西日本区2000推進チームは、実質8年間に及ぶ働きを各部ごとの会員増強組織に委ねるため、今期をもってその活動を閉じます。これまでお働き下さったチームのみなさまのお働きに感謝します。

理事GOALを目標とする献金は、東日本大震災被災支援に向けての献金の額が少し低いほかはほぼ例年並みがありました。現在、YMCA東山荘100年募金とネパール大地震被災支援募金にかかるYMCAからの呼び掛けにあ應え下さるよう、西日本区のみなさまにお願いしています。

今期の事業活動におけるトピックスとして、①各クラブから提出して頂いたYサ事業報告からクラブのみなさまがYMCAサポートを大いに楽しんでいることが確認できしたこと、②各クラブで実践する地域奉仕活動を他クラブも応援し共有するために部単位で各クラブの活動状況を報告する場を設けてクラブ相互の情報共有を図ることにしたこと、③今期から始まる部ごとの会員増強推進チームの動きについてみれば、初年度ということもあってか、活動されている部と思うような活動ができていない部があること、④台灣区と東日本区にそれぞれ所属するクラブ同士のIBC締結ではあるが、この締結実現のために西日本区に所属するクラブの働きが大きく貢献したこと、⑤メネット事業について多くのメンにもご理解頂きメネットとともにあ支え頂いたこの1年ではありましたが、活動下さるメネットの数の減少と高齢化などの実態を考えると、メネット事業のあり方について考えるべき時期がきているのではないかと思われること、などが挙げられます。

日本ワイスメンズ運動発祥の地、「大阪」で、いま、ワイスメン・メネットが交わり、響き合い、楽しむことで、ここを新たにしてワイスメンズ運動を展開するきっかけを作りたい、というのが今回の第18回西日本区大会開催への私の思いであります。みなさま、大阪ベイエリアで

“交・響・楽”を奏で、私たちの力をワイスメンズ運動の明日につなげましょう。ともあれ、みなさまからのこの一年間の温かなご支援・ご協力にこころから御礼申し上げます。ありがとうございました。

ブリテン300号 記念寄稿



ブリテン300号に思う

鹿児島ワイズメンズクラブ 園屋高志

ブリテン300号発刊、おめでとうございます。300号と一口に言ってもその中にはクラブの25年の歴史と記録が詰まっているもので、貴重な財産です。これまでブリテンを担当された神村ワイズ、中堀ワイズ、松永ワイズほか歴代の担当者に敬意と感謝を表します。また、神村ワイズがブリテンを丁寧に製本して保管してくださっていますが、私は25周年記念例会用のスライドを作る際にそれを利用して、とても重宝しました。記録を残すということの大切さを改めて感じた次第です。

最近はブリテンも電子化され、紙媒体では発行されないクラブもあり、それはそれで良さもあるのですが、やはり紙のブリテンはいいものです。なんといっても手に取って一覧できますし、引き付けられる感覚があります。

先日の企画例会の際にも、持ち込んだブリテンの製本を開いて、昔の懐かしいクラブの様子に皆さん見入ってもらいました。思わずそうなるのが紙媒体の良さだと思います。

これからもブリテンで長くクラブの歴史を残していくことを願っています。



「ワイズソングについて① —フィンランディア」

鹿児島ワイズメンズクラブ 中堀清哲

私どもがいつも例会などの開始に歌っているワイズソングですが、作詞はワイズメンズ国際協会創立者Paul William Alexander（ポール・ウイリアム・アレクサンダー）が作詞しました。

Once more we stand,
New zeal our hearts imbuing; We raise our hand,
Our service pledge renewing. Ne'er to deny our motto's claim
Y's men in fact as well as name. Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew. As now we sing,
In comradeship more binding; Our love we bring,
Reward in friendship finding. To every Y's man far and near,
We pledge devotion most sincere! Glory and pride Y's men to be,
Fill ev'ry heart with loyalty.

この詩に、フィンランドの国民的大作曲家Jean Sibelius（ヤン・シベリウス 1865-1957）の交響詩『フィンランディア』があてられています。今年はシベリウスが生まれて150年目の節目です。『フィンランディア』が発表された1899年当時のフィンランドは帝政ロシアの圧政下にあって、人々は虐げられ、苦しい日々を送っていました。独立運動が起こったことは言うまでもありません。シベリウスが作曲した当初は「フィンランド

は目覚める」で新聞社が主催する歴史劇の伴奏音楽を8曲からなる管弦楽組曲とし、その最終曲を改稿して独立させたものでした。フィンランドへの愛国心を鼓舞するものとして、帝政ロシア政府が演奏禁止処分にしたことは有名な話です。いまでもシベリウスが国民的作曲家としてフィンランド国民から熱狂的に支持されている所以です。1900年にはパリ国際万国博覧会でも上演され、広く知られることとなりました。局の後半部分には美しい旋律に歌詞がつけられ「フィンランディア賛歌」として有名です。

（以下ウイキペディアより）「フィンランディア賛歌」は1941年に詩人のヴェイッコ・アンテロ・コスケニエミによって歌詞がつけられ、シベリウス本人が合唱用に編曲した。無伴奏の合唱で歌われるものは、原曲と調性が異なる。当時、ヨシフ・スターリンが支配するソビエト連邦の露骨な侵略（冬戦争・継続戦争）により、国家存続の危機にあつたフィンランドの人々を奮い立たせるものであり、フィンランドでは現在も国歌（「我等の地」）に次ぐ第二の愛国歌として広く歌われている。ヘルシンキ放送交響楽団の演奏ではヘルシンキ放送合唱団による歌声を聞くことができる。また、讃美歌としてもこの旋律に詞をつけて歌われている（「やすかれわがこころよ」）。この曲は、フィンランド出身のレニー・ハーリン監督による映画『ダイ・ハード2』のラスト（ノースイースト機が緊急着陸を試みるシーンや、エンディングにも使われている。

シベリウスは本来バイオリニストになりたかったのですが自分以上に才能のあるバイオリニストの存在から作曲家への路を歩んだそうです。7つの交響曲、多くの交響詩やバイオリン協奏曲、ピアノ曲、声楽曲など多岐に渡り多くの作品を残しています。日本にも日本シベリウス協会があり、根強いファンがいます。生誕150周年を記念して多くの催しがあるようです。

ワイズソングになぜなったのかは残念ながら今現在は分かっておりません。「フィンランディア」の作曲された時代背景なども関連するのではないかと私は思うのです。この曲を歌うとき曲の背景を思うのも歌に重みが出るかもしれませんね。

会長	英	明志弓
副会長	高 <th>明志穂</th>	明志穂
書記	英 <th>志浩</th>	志浩
会計	高 <th>古子夫</th>	古子夫
監査	比	隆哲
広報	高	明子
EMC	高	弓子
国際交流	比	之穂
地域奉仕	高	哲
ブリテン	高	弓子
Yサ・ユース	容	之穂
直前会長	早	弓子
ネット会長	眞	穂
YMCA・ICR主任	穂	穂
YMCAサービス	穂	穂
ドライバー委員長	穂	穂

歴代役員

ブリテン200号

2007年2月号

平成19年

会長	中 堀 清 哲
副会長	中 松 穎 夫
次々期会長	園 屋 高 志
書記	小 園 庸 子
会計	大 野 健 三
	板 山 瞳
監査	徳 田 穏
	保 澤 末 良
BF	京 田 新 矢
	本 田 順 子
EMC	中 松 穎 夫
CS/TOF	徳 澤 洋 子
	福 永 透
ファンド	田 辺 征 一
	山 下 早 容 子
	久 木 元 淑 子
ブリテン	神 村 浩
	大 野 健 三
	園 屋 高 志
交流	吉 松 勝 郎
	樋 脇 麗 子
直前会長	小 園 庸 子
メネット会長	吉 松 伊 都 子
YMCA交流	小 山 哲 夫
九州部ファンド事業主査	田 辺 征 一

ブリテン100号

1998年10月号

平成10年

会長	田 邊 征 一
副会長	山 下 早 容 子
	(次期会長)
副会長	吉 松 勝 郎
	(次次期会長)
書記	神 村 浩
会計	廣 川 克 彦
会計補佐	小 園 庸 子
監査	松 田 瑞 穂
	山 崎 美智子
直前会長	松 田 瑞 穗
BF	久 木 元 淑 子
IBC/YEEP	山 下 早 容 子
EMC	中 松 穎 夫
CS	池 辺 道 子
ブリテン	梅 原 秀 次 郎
	神 村 浩
メネット会長	田 邊 千 世 郎
YMCA設立準備委員	吉 松 勝 郎
	小 園 庸 子
	小 清 水 孜
	瀬 戸 ひろ美
	杉 山 慶 太 朗
YMCA連絡主事	浦 田 俊 郎
	(熊本YMCA)

今月の花



なす(茄子)

- ・茄子(なす)科。
- ・学名 Solanum melongena Solanum : ナス属 melongena : ウリのなる
- ・開花時期は、6/5~8/5頃。
- ・インド原産、奈良時代に渡来。野菜栽培。
- ・花はうす紫色。
- ・夏に採れる野菜なので「夏実(なつみ)」、それがだいに変化して「なすび」、それが省略されて「なす」になった。また、「梨実(なしのみ)」が変化したもの、ともいわれる。お盆の頃に、道の軒先などでときどき見かける「精靈馬(しょりょううま)」のご先祖様が乗る馬はキュウリで荷を引かせる牛はナス。

鹿児島クラブ 5月定例会報告

松永 英明

日 時：平成 27 年 5 月 26 日 火曜日
19:00~21:00
場 所：ジェイドガーデンパレス
出席者：15 名
司会者：松若ワイズ

5月例会の記録

クラブ在籍者	14名
出席者	10名
ネット	0名
ゲスト	5名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
5月出席率	71.4%

ニコニコファンドメッセージ

5月ニコニコ
ファンド合計金額

4,874円

献金有難う
もしやげもす。



松本先生、玉代さん、小園さん、上之園さん、高木さん
ようこそいらっしゃいました。これを機会にワイズライフ
と一緒に楽しめませんか！よろしくお願ひします。

神村さん素晴らしい映像をありがとうございました。色々
と考えさせられました。ワイズの皆様、YMCAのご支援
をよろしくお願ひします。

徳田ワイズ

You Tube を使った観賞は新鮮でした。「津波から生還
したドイツ人」には感動しました。ワイズでも皆で木を
植えましょう。

中堀ワイズ

東日本をわすれないでしょう。と思いながらも怠惰故に
知らなかったことを今日はいろいろおしえていただきました。
心にしました。ありがとうございました。
このでき事を本当に忘れずいなくては、とあらためて思
いました。

山口ワイズ

久し振りに東日本大震災の映像を見ました。大変だった
4年前のあの日のことを思い出すと本当に胸が痛みます。
私たちは、この教訓を決して忘れてはならないし、二度
とこのようなこと（特に原発の事故）がないようにしな
くてはなりません。そして、やはりそのためには原発を
廃止するのが一番だと思います。そして、又隣人愛の美
しさにも感動しました。「よきサマリア人」は日本にもい
ましたね。

中松ワイズ

目にしなかった映像、しらなかった話など印象深いもの
でした。年々、東日本震災の記憶が薄れしていくが、年1
回は全国民が大震災を思いおこす記念日を持つべきと思
いました。神村さん、ありがとうございました。

田辺ワイズ

神村さん、感動的な動画を見せていただきありがとうございました。とにかくこうして忘れない活動を継続していきましょう。

園屋ワイズ

鹿児島クラブ 2015年6月 定例会

日 時 平成27年6月23日 火曜日

会 場 ジェイドガーデンパレス

司 会 山下ワイズ

書 記 園屋ワイズ

1 開会点鐘	松 永 会 長
2 ワイズソング	全 員
3 会長挨拶	松 永 会 長
4 ゲスト・ビジター紹介		
5 食前感謝	坂 口 ワイズ
6 会食		
7 諸報告		
①鹿児島YMCAの報告	新 内 ワイズ	
②全国YMCA同盟協議会報告	中 松 ワイズ	
③西日本区大会報告	全 員	
④その他		
8 鹿児島クラブ総括	全 員
9 会長引き継ぎ式		
10 現会長挨拶	松 永 会 長
11 新会長挨拶	園屋次期会長
12 YMCAソング	全 員
13 なごりはつきねど	全 員
14 閉会点鐘	松 永 会 長

今月の聖句

魂のない肉体が死んだもので
あるように、行いを伴わない
信仰は死んだものです。

(ヤコブの手紙2章26節)

鹿児島クラブ 6月企画例会報告

松永 英明

日 時：平成 27 年 6 月 9 日 火曜日
19:00~21:00

場 所：珈琲館かみむら

出席者：山口、神村、中堀、
中松、園屋、徳田

行事予定



鹿児島クラブ5月企画例会

日 時：7月 14 日火曜日
19:00~21:00

場 所：珈琲館かみむら

鹿児島クラブ5月定例会

日 時：7月 28 日火曜日
19:00~21:00

場 所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島ワイズメンズクラブ

〈チャータ〉 1990 年 2 月 12 日

〈事務所〉 T890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田3丁目43-7 1F 鹿児島 YMCA

〈定例会〉 每月第 4 火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス

〈企画例会〉 每月第 2 火曜日 場所：珈琲館かみむら (時間は企画例会・定例会とも 19:00~21:00 まで)

皆様方のエッセイ、記事などお待ちしております。
どうぞ、ご投稿ください。